

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践(Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9701001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	2年次
実 施 学 期	秋C	曜 時 限	月曜・5、6時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担当教員(連絡先)	吉田 武男		
オ フィ ス ア ワ ー	月(18:00~19:00) 教職サポートルーム(グローバル教師力開発推進室)		
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授 業 の 概 要	<p>教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史的変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ)</p> <p>第2回:特別活動の歴史的変遷と実際</p> <p>第3回:生徒指導や教科教育との関連</p> <p>第4回:道徳教育や総合的な学習との関連</p> <p>第5回:キャリア教育との関連</p> <p>第6回:特別活動の目標と内容</p> <p>第7回:学級活動と生徒会活動の実際</p> <p>第8回:クラブ活動と学校行事の実際</p> <p>第9回:特別活動の評価</p> <p>第10回:特別活動の課題と展望</p> <p>課題提出</p> <p>※manabaにおいて資料・動画等および課題を提示します。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>manaba に提出された課題で出欠を確認します。</p> <p>manaba に提出された課題を総合的に評価します。</p>		
テ キ ス ト	吉田武男・京免徹雄編『特別活動』ミネルヴァ書房、2020年		
参 考 文 献	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編</p> <p>中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編</p> <p>高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	原則として、毎回、事前に該当する教科書の範囲を知らせますので、必ずその箇所を予習してしたうえで受講してください。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	旧課程の「特別活動」に対応。		

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践(Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9702011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	火曜・4、5 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担当教員(連絡先)	京免 徹雄 (人間系棟 A543 TEL 029-853-4590 E-mail: kyomen@human.tsukuba.ac.jp)		
オフィスアワー	木曜日 14 時 から 16 時		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授業の概要	<p>教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。</p>		
授業計画	<p>第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ)  第2回:特別活動の歴史の変遷と実際(クラブ活動・部活動を中心に)  第3回:学校行事の歴史の変遷  第4回:学校行事の実際  第5回:学級活動・ホームルーム活動の歴史の変遷  第6回:学級活動・ホームルーム活動の実際  第7回:生徒活動の歴史の変遷  第8回:生徒会活動の実際  第9回:学習指導案の検討  第10回:まとめ</p> <p>定期試験</p> <p>※manaba において資料・動画等および課題を提示します。</p>		
成績評価方法	<p>小レポートと課題を manaba を使って提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①小レポート(18%:3%×6 回)</li> <li>②課題(30%:10%×3 回)</li> <li>③確認テスト(レポート)(42%)</li> <li>④10 回以上のコメント(10%)</li> <li>⑤出欠(3 分の 2 以上の出席(小レポート提出)が単位認定のための前提条件)</li> </ol>		
テキスト	吉田武男・京免徹雄編著『特別活動』ミネルヴァ書房、2020 年。		
参考文献	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、  中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、  高等学校学習指導要領解説 特別活動編(最新版)</p>		

<p>授業外における学習方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学校生活における特別活動の体験を振り返ってみましょう。</li> <li>・小／中／高等学校学習指導要領解説の特別活動編(文部科学省のウェブサイトからアクセスできます)を精読してください。</li> </ul>
<p>受講学生に望むこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、毎回、事前に該当する教科書の範囲を知らせますので、必ずその箇所を予習してしたうえで受講してください。</li> <li>・3分の2(7回)以上の出席が単位認定の前提となります。</li> <li>・教育について考えるためには、日々めまぐるしく変化する現代社会について知っていることが重要です。ぜひ新聞等を積極的に読みましょう。</li> <li>・授業で学んだことを鵜呑みにするのではなく、自分の頭でしっかりと考えて消化し、さらに積極的に外にアウトプットしていきましょう。お互いに語り合うこと、それはみなさんの教師としての視野を広げ、実践力を高めることにつながると確信しています。</li> </ul>
<p>備考</p>	<p>旧課程の特別活動に対応。</p>

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践(Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9705001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	春季休業中	曜 時 限	集中(2/19、2/22)
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	田中 マリア		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授 業 の 概 要	<p>教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。</p>		
授 業 計 画	<p>※対面ではなくオンデマンド。評価に関わるため履修登録期限の翌日には必ず manaba 上で詳細を確認すること。確認が遅れたことによる不利益は責任を負いかねるので十分注意すること。</p> <p>※以下、オンデマンド化にともない変更の可能性もある。詳細は初回の説明で確認すること。</p> <p>第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ)</p> <p>第2回:特別活動の歴史の変遷と実際(クラブ活動・部活動を中心に)</p> <p>第3回:学校行事の歴史の変遷</p> <p>第4回:学校行事の実際</p> <p>第5回:学級活動・ホームルーム活動の歴史の変遷</p> <p>第6回:学級活動・ホームルーム活動の実際</p> <p>第7回:生徒活動の歴史の変遷</p> <p>第8回:生徒会活動の実際</p> <p>第9回:学習指導案の検討</p> <p>第10回:まとめ</p>		
成 績 評 価 方 法	毎回の課題によって行う。詳細は manaba 上で周知する。		
テ キ ス ト	<p>日本特別活動学会編『キーワードで拓く新しい特別活動—平成29年版・30年版学習指導要領対応』東洋館出版、2019年。</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』(最新版)</p>		
参 考 文 献			
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	<p>旧課程の特別活動に対応。対面ではなくオンデマンドで行う。評価に関わるため履修登録期限の翌日には必ず、manaba 上で詳細を確認すること。確認が遅れたことによる不利益は責任を負いかねるので十分注意すること。</p>		

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践(Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9706011	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	夏季休業中	曜 時 限	集中(9/17、9/18)
対 象 学 群・学 類	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数)		
担当教員(連絡先)	京免 徹雄		
オフィスパワー	木曜日 14 時 から 16 時		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授業の概要	<p>教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。</p>		
授業計画	<p>第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ)</p> <p>第2回:特別活動の歴史の変遷と実際(クラブ活動・部活動を中心に)</p> <p>第3回:学校行事の歴史の変遷</p> <p>第4回:学校行事の実際</p> <p>第5回:学級活動・ホームルーム活動の歴史の変遷</p> <p>第6回:学級活動・ホームルーム活動の実際</p> <p>第7回:生徒活動の歴史の変遷</p> <p>第8回:生徒会活動の実際</p> <p>第9回:学習指導案の検討</p> <p>第10回:まとめ</p> <p>定期試験</p>		
成績評価方法	<p>毎回の授業への取り組みの状況、課題(学習指導要領関連)、および試験によって総合的に評価する。</p>		
テキスト	<p>第1回の授業時に指示する。</p>		
参考文献	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、</p> <p>中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、</p> <p>高等学校学習指導要領解説 特別活動編(最新版)</p>		
授業外における学習方法	<p>・これまでの学校生活における特別活動の体験を振り返ってみましょう。</p> <p>・小／中／高等学校学習指導要領解説の特別活動編(文部科学省のウェブサイトからアクセスできます)を精読してください。</p>		
受講学生に望むこと	<p>・3 分の 2(7 回)以上の出席が単位認定の前提となります。</p> <p>・教育について考えるためには、日々めまぐるしく変化する現代社会について知っていることが重要です。ぜひ新聞等を積極的に読みましょう。</p>		

		<p>・授業で学んだことを鵜呑みにするのではなく、自分の頭でしっかりと考えて消化し、さらに積極的に外にアウトプットしていきましょう。お互いに語り合うこと、それはみなさんの教師としての視野を広げ、実践力を高めることにつながると確信しています。</p>
備	考	旧課程の特別活動に対応。

授 業 科 目 名	特別活動の理論と実践 (Theoretical and Practical Studies in Special Activities)		
科 目 番 号	9706021	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	木曜・2、3 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数)		
担当教員(連絡先)	京免 徹雄 (人間系棟 A543 TEL 029-853-4590 E-mail: kyomen@human.tsukuba.ac.jp)		
オフィスアワー	木曜日 14 時 から 16 時		
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別活動の目標と内容(学級活動、生徒会活動、学校行事など)の特徴を理解する。</li> <li>2) 各教科や総合的な学習の時間などと特別活動との相違点および関連を理解する。</li> <li>3) 特別活動の指導法や評価について理解する。</li> <li>4) 合意形成に向けた話し合い活動などの指導の在り方を例示できるようになる。</li> <li>5) 広い視野から、特別活動の学習指導案の書き方を理解する。</li> </ol>		
授 業 の 概 要	<p>教員に必要な特別活動の基礎知識の習得を目指すものである。したがって、授業の中では、特別活動の歴史の変遷を踏まえながら、その意義と目標とともに、その具体的な内容(学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事など)とそれに伴う指導法や評価法の在り方を学ぶことになる。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回:特別活動とは何か(教育課程における特別活動の位置づけ)</p> <p>第2回:特別活動の歴史の変遷と実際(クラブ活動・部活動を中心に)</p> <p>第3回:学校行事の歴史の変遷</p> <p>第4回:学校行事の実際</p> <p>第5回:学級活動・ホームルーム活動の歴史の変遷</p> <p>第6回:学級活動・ホームルーム活動の実際</p> <p>第7回:生徒活動の歴史の変遷</p> <p>第8回:生徒会活動の実際</p> <p>第9回:学習指導案の検討</p> <p>第10回:まとめ</p> <p>定期試験</p> <p>※manaba において資料・動画等および課題を提示します。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>小レポートと課題を manaba を使って提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①小レポート(18%:3%×6 回)</li> <li>②課題(30%:10%×3 回)</li> <li>③確認テスト(レポート)(42%)</li> <li>④10 回以上のコメント(10%)</li> <li>⑤出欠(3 分の 2 以上の出席(小レポート提出)が単位認定のための前提条件)</li> </ol>		
テ キ ス ト	吉田武男・京免徹雄編著『特別活動』ミネルヴァ書房、2020 年。		
参 考 文 献	<p>小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、</p> <p>中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編、</p> <p>高等学校学習指導要領解説 特別活動編(最新版)</p>		

実施方法：オンライン（オンデマンド型）

<p>授業外における 学習方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学校生活における特別活動の体験を振り返ってみましょう。</li> <li>・小／中／高等学校学習指導要領解説の特別活動編(文部科学省のウェブサイトからアクセスできます)を精読してください。</li> </ul>
<p>受講学生に望むこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、毎回、事前に該当する教科書の範囲を知らせますので、必ずその箇所を予習してし たうえで受講してください。</li> <li>・3分の2(7回)以上の出席が単位認定の前提となります。</li> <li>・教育について考えるためには、日々めまぐるしく変化する現代社会について知っていることが重 要です。ぜひ新聞等を積極的に読みましょう。</li> <li>・授業で学んだことを鵜呑みにするのではなく、自分の頭でしっかりと考えて消化し、さらに積極的 に外にアウトプットしていきましょう。お互いに語り合うこと、それはみなさんの教師としての視野を 広げ、実践力を高めることにつながると確信しています。</li> </ul>
<p>備 考</p>	<p>旧課程の特別活動に対応。</p>